



# イエス団東日本大震災救援対策本部 活動報告書

発行所: 社会福祉法人・学校法人イエス団 東日本大震災救援対策本部

発行者: 対策本部長 平田 義

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通 5-2-20 TEL: 078-221-9565 FAX: 078-221-9566

<http://www.jesusband.jp> e-mail: [saigai-sien@jesusband.jp](mailto:saigai-sien@jesusband.jp)

vol. 1

2011/7/1

平素は、社会福祉法人・学校法人イエス団の働きにご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

この度、3月11日の未曾有の大震災発生後、私たちイエス団では「イエス団東日本大震災救援対策本部」を立ち上げ、下記に掲げるイエス団の理念に従い、子ども達、高齢者、障がい者、在日外国人の方々等の社会的弱者に焦点をあて、微力ながら息の長い支援活動にご協力させていただいております。まずはその内容についてご報告させていただきます。

## 現地の活動レポート

東日本大震災関西障害者応援連絡会に参加して ~宮城県石巻市 ひたかみ園応援第8陣(4/6-11)~

(社会福祉法人イエス団 京都ブロック 愛隣デイサービスセンター 辻 早苗)

震災後最大の余震に遭遇。水道と電気が止まった中ではあったが、第2ひたかみ園での直接支援は当事者たちの笑顔に支えられる時間となった。一緒に避難されている保護者や職員さんから、地震当時の様子を聴かせていただく中、短期間滞在者である私たちに、つらい体験を話して下さるといふ好意にただただ感謝するばかりだった。話を伺いながら、多大な困難を被り大きなストレスを抱えながらの集団生活で、個々人の「こだわり」(震災以前はそれが日常であったはずの)を取り戻すことは難しく、職員、保護者、利用者がさらに少しずつストレスを抱えていることに気づかされた。大きな困難の前に個々人が寄り添い乗り越えようとしていた当初から、新たな人間関係から生じるストレスが、小さなハレーションに結びつきつつある場面もあり、心の泥を出せる場の必要性を強く感じた。しかし一方で、当事者の笑顔がひずみの間を埋めているように感じた。思いっきり笑い合える日が1日も早く来ることを祈り続けたい。

## イエス団の支援活動内容について

### 【募金活動】

・3月15日~イエス団全施設において募金活動を実施。現在も継続中。

### 【生活介助支援】

・4月6日~11日、4月20日~27日、5月28日~29日、6月11日~12日  
6月17日~19日、6月23日~30日それぞれの期間において、知的障がい者入所更生施設「ひたかみ園」(宮城県石巻市)にて生活介助支援や炊き出し、引越し等のお手伝いの支援をさせていただく。

### 【支援物資の収集】

・4月7日~ 保育関係備品(絵本、衣類、おもちゃ等)を集め日本ユニセフ協会を通じて被災地に送付する予定。

### 【現地視察】

・4月10日~14日 宮城県石巻市: 知的障がい者入所更生施設「ひたかみ園」、日本キリスト教団石巻栄光教会  
宮城県仙台市: 日本基督教団東北教区被災者支援センター、仙台つどいの家、拓桃医療センター  
岩手県大船渡市: 日本キリスト教団大船渡教会  
岩手県釜石市: 日本キリスト教団新生釜石教会

イエス団で取り組むべき方向性を探るため、上記へ訪問させていただき今後の支援内容を協議しました。

### 【家屋の泥だし・片付け、がれきの撤去作業】

・5月10日~14日、5月16日~20日、6月28日~7月2日、7月5日~9日 それぞれの期間において、東大阪市社会福祉協議会を通じて、宮城県や岩手県の被災された家屋の泥だしや片付け、がれきの撤去作業のボランティアをさせていただきました。

### 【支援活動の情報交換会】

・5月15日 神戸市中央区賀川記念館に於いて、賀川記念館の関係団体で東日本大震災への救援や支援活動等、どのような取り組みをされているかを共有し、今後の活動に生かすために情報交換会を設けました。

### 【被災された障がい者施設の製品販売】

・被災された障がい者施設の製品を、今後イエス団関連施設においてバザー等で販売支援する予定。(一部では販売を開始しています)

「イエス団東日本大震災救援対策本部」の取り組みと今後の活動について

救援対策本部会議では、東日本大震災で被災された方々へイエス団の理念にそった、イエス団らしい息の長い支援を



行っていくために、以下の内容を対策本部で決議しイエス団全体で取り組んでいくことを確認しました。

- ・イエス団全体としての募金の目標金額を設定し、募金活動に取り組んでいく。
- ・これまでの活動報告、今後の活動方針及び募金の使途を「活動報告書」として発行する。
- ・ボランティアのコーディネートや障がい児・者への支援、マンパワーとして泥だし・がれきの撤去作業等に関する人的支援活動の実施。
- ・被災地よりイエス団関連施設近隣に避難されている方々への交流支援。
- ・福島県・岩手県の障がい者授産施設で作られている製品の販売協力。(販売ルートが被災のため絶たれています。イエス団では、各施設において授産施設製品をバザー等で販売協力も行っていきたいと思っておりますので是非ご協力ください。)

その他「ミッションステートメント 2009」の理念のもとに、積極的に活動していきたいと思っておりますので今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### 募金について

「イエス団震災救援対策本部」ではイエス団関係各所に対し、被災された方々への救援のための活動資金や義援金のため 1 千万円を目標金額とし募金をお願いしましたところ、多方面より多くの方々からご支援、ご協力いただきました。現在までに集まりました募金状況をお知らせいたします。

これまでに集まった募金 

74口	¥4,637,885-
-----	-------------

 (6月22日現在)

これらの募金は、今後大きく3つの使途に分け使用させていただき、この紙面にて報告させていただきます。

支援物資      活動費      義援金



以下に募金いただきました方々に感謝の意をもって掲載させていただきます。

NPO 法人プラス・アーツ、甲子園二葉幼稚園、神視保育園、のぞみ保育園、ぶどうの木保育園、ホームヘルプ事業 ゆうりん、みどり野保育園、愛之園保育園、一麦保育園、賀川記念館、天国屋カフェ、空の鳥幼稚園、甲東教会CS、坂出育愛館、神戸イエス団教会、杉の子保育園、聖浄保育園、天隣乳児保育園、同志社女子高等学校、瞳保育所、豊島神愛館、野の百合保育園、友愛幼稚園、ガーデンエル、ガーデンロイ、ガーデン天使、イズミ ジュンキチ、市川紳司、大谷美和子、上内鏡子、桜井利枝、清水元介、田村三佳子、戸塚菊美、中田一夫、秦正雄、南原麻里、宮本真希子、山口政紀、祐村 愛、祐村 明、英賀康子、横山明子、加治木政子、河 達二、吉山修平、好崎志保、黒田 絢、山形滝子、松元節子、織田雪江、森田 学、真下 謙、杉本基晴、川端佐代子、村山盛嗣、滝口 豊、中塚敦子、田中京子、藤田早紀、梅村貞造、富士定夫、矢野博信、澤田茂雄

【順不同、敬称略】

記載に関しては、万全を期しておりますが万が一記載漏れがございましたら上記までご連絡ください。

たくさんのご支援をいただき感謝申し上げます。今後も息の長い支援をさせていただくため、目標金額まで継続し募金活動を行っていききたいと思いますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

#### 【募金振込先】

・郵便(ゆうちょ銀行)振替口座      口座番号: 01140-8-75472      加入者名: 社会福祉法人イエス団

\*郵便振替の場合は通信欄に、「東日本大震災救援募金」と明記してください。

・三井住友銀行 三宮支店 普通預金: 9206516      口座名: 社会福祉法人イエス団

#### ミッションステートメント 2009

わたしたちイエス団の実践は、1909年12月24日の賀川豊彦の献身に始まる。そして、イエスの愛に倣い、互いに仕えあい、社会悪と闘い、新しい社会を目指して多くの協働者とともに今日まで歩み続けてきた。この歴史を検証し、働きを引き継ぎ、今、わたしたちはイエスに倣って生きる。

わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす  
わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす  
わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす  
わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす  
わたしたちは、平和をつくりだす

2009年12月24日  
社会福祉法人イエス団  
学校法人イエス団